



こころネットワーク だより

Vol.39 2007(平成19)年11月5日発行

岩国市議会議員 姫野敦子の活動報告 + その他色々の情報紙

そろそろ立冬。暑いこの夏、秋でしたが、やっと少しずつ寒くなって参りました。岩国市は、一体これからどうなるのだろう？皆様も日々、大変心配して居られることと思います。目の前で繰り広げられる議会の現実に、情け無さ悔しさむなしさを感じる毎日です。議会の有り様、市、県、国、それぞれ課題を感じつつ日々を過ごしています。

私の感じた九月定例会の問題点

9月定例会の総括として、一番残念だったのはなんとと言っても義済堂の跡地購入予算の事実上の否決です。

義済堂は皆さんご存じの通り、臥竜橋たもとにあり、観光地にほど近いまとまった用地です。

九月定例議会前、市側は「どうも今議会では通らないだろう・・・」と判断され、関連のページ全面に訂正シールを貼ってふくらんだ議案書(補正予算書)を出されました。

すっかり市側が諦めていたのに、謀議員が「この予算は通すべきだ」と調整に走られ、「そこまで言われるなら・・・」と、再度議案として提出。

ところが委員会審議では、土地の評価に疑義がある、土地が汚染されている、言い値で買うのかなどと、聞くに堪えない様な質疑が続く。売り主側より「9月末までが期限」とされており、市当局が腹をくくって出した議案にもかかわらず、委員会で継続審議になってしまいました。通常では、継続審議は次回の委員会まで審議されず、12月3日からの定例会になってしまいます。

「こんなことで予算を流しては行けない」と、最終日、26日に委員長の継続審議報告を受けて、緊急動議を出し早急の委員会開催を求めました。

しかし、その動議も謀議員なども否決にまわれ、いわゆる廃案になってしまいました。

また「まだ継続中だ！」と否決した議員も居られますが、10月31日の臨時議会で、議案自体が正式になくなりました。義済堂跡地のような、大切な用地取得が、政争の具となってしまい、

まちおこしと米軍再編の問題は同じレベルの問題ではないのに・・・と、残念に思います。市長の出す議案といった争いで、次々と否決されていく現実を本当に悲しく感じます。

一方、3、6月と2度にわたって継続審議となっていた「男女共同参画推進条例」は、やっと可決されました。



なぜか過激な反応をされる議員の多いこの条例ですが、専業主婦を否定するものでも、家庭を崩壊させる危険な思想でも、男性と女性が同じとするものでも、男女の違いを否定するものでもありません。

これから少子化が進み、女性も様々な仕事やチャンスにチャレンジし、男女が共に協力しあい支え合って、暮らしやすい良い社会を作っていきましょうという憲章型の条例です。(市のホームページからもご覧いただけますので、一度ご覧下さい。)これからの社会は、男女ともに家庭と仕事との両立の出来る環境や人間らしい暮らし方が必要です。そのためには周囲の理解が大切です。少子化対策にもなります。

また「核兵器廃絶都市宣言」に関する決議は、3月議会で「国防協力都市宣言の決議」が賛成多数で採択した関係からか、採決の際には、退場される議員も数人おられましたが、結局採決されました。

(1)

米軍再編交付金などについて

庁舎建設については何度も今までお知らせしましたように、合併特例債を使ってはならないと否決が続きました。しかし市民の大切な税金や多くの負担を考えると、合併特例債は賢明な判断と思われま
すし、再議があるからと意地で予算を通さないのも、私には信じられないやり方と感じます。

庁舎の補助金同様、防衛省は岩国市への米軍再編交付金を見送りました。米軍再編に慎重な態度を取っている基地のまち神奈川県座間市、沖縄県名護市なども同様に除外されています。

一方、容認を表明している岩国基地の周辺自治体には、最大で大竹市 1億 2000万円、和木町 7600万円、周防大島町 4900万円の交付金の支払いを公表しました。再編の進捗に応じて、今後約十年間の交付金総額は最大で、大竹市 40億円、和木町 25億円、周防大島町が 16億円という見通しです。全国の受給候補地は 40市町村で、負担の大きい肝心の自治体では、再編事業の進捗率により(1)受け入れ表明(10%)、(2)環境影響評価(アセスメント)の着手(25%)、(3)着工(67%)、(4)再編の実施(100%)の4段階に分類。計画の受け入れに伴う負担の重さを数値化し、進捗率を加味して、年度ごとに交付額を算定される一方、「進捗に支障が生ずる場合は交付額を減額またはゼロとする」内容です。

また交付金の獲得には各年度ごと、交付金の事業計画を国に提出、交付額が決まるなど市民不安や財政上の問題などもあり、いずれも苦しい内容となっています。

もし岩国が容認したとしても、試算では 10年余りで、約 130億円程度。以前、「容認すれば 5千億でも 1兆円でももらえる!」「何でも使える」…などのウワサが随分ありましたが、現実には厳しいことが証明される内容となりました。信じられる自分の国のやり方として、本当にこれで良いのでしょうか?

皆様、岩国の置かれた状況をどのようにお考えですか?

- ・もういっしょに削減にあきらめて容認したら?
- ・来るものは来る、市長が混乱の元凶だ!
- ・いやいや、先の戦争では多くの身内や友人を失い、二度と戦争を起こして欲しくない
- ・基地機能が拡大したら、一番に狙われるのは岩国だ!
- ・子どもや孫に、不都合なつけを残したくない
- ・長年騒音で悩んでいるので、もう止めてほしい
- ・いやいや、騒音も 24時間・365日ではないし、自分には関係ない
- ・基地はともかく、民間空港は絶対再開して欲しい
- ・いや、民間空港と米軍再編が引き替えだったら、民間空港はなくてもいい
- ・艦載機を受入れなかったら、財政破綻を起こす。最後のチャンスだ!

・市長はぶれていない、議会や議員に責任がある。経済的にも冷え込む岩国には、どうしても米軍再編や民間空港は必要条件だ。

・庁舎が華美だから、市民にツケが回る。もっと質素にし、基金が貯まってから建てればいい。

・市長が頑固で聞く耳を持たないから、国からこんな目に遭わされる。

・自業自得だが、自分たちが巻き込まれるのはまっぴらごめんだ…。

~ 米軍再編の問題が起こって以来、こういった意見が全市的に聞かれ「市を二分してしまった」というのが、正直な感想です。~

・・・たら・れば、で考えてみると、

米軍再編計画がなかったら、この問題以外に時間を割いて、まちづくりを進められたのでは?

芸予地震がなかったら、庁舎も被害を受けなくて、建て直さなくても、まだ良かったのでは?

議員が公約を守ってくれていたら、選挙直後から態度を変えた議員も議会の結果も変わっていたのでは?

県も地元にもっと耳を傾けてくれれば、知事も地元の痛みの実情を把握にしてくれたのでは

住民投票をしなかったら、合併後消失する住民投票条例を「合併後すれば良かった」とか、「選挙に利用した」と言われずにすんだ。

市長選で別な人が当選していたら、米軍再編を容認し、庁舎補助金 35億と約 10年間で計 130億円くらいの再編交付金をもらえた? かも。

国が約束どおり庁舎予算を出していれば、市民は、これほどに二分されなかった…

いま、議会は市民の予算、庁舎予算が三回にわたって否決。市長に要らない活動をするなど付帯決議を付けてみたり、市長へ促していた再議という裏技を述べたり、それも総務省から該当しないという判断。11月中旬とされる合併特例債の期限も近づいています。議会の選択結果が、これからの岩国市民に大きく影響を与えそうです。

ぜひ、議会にも傍聴にお越し下さい。もう仕方ないではなく、自分のこととしてしっかり考えて下さる市民の皆さまが、頼りです。



9月の一般質問



国民の悲鳴は多いのに、声の届きにくい国や政治のあり方が気になるこの頃です。
制度はあっても役に立たない・・・とならない様、現状にあった施策に！

1.政府のパブリックコメントについて	(1)市民への周知啓発、リンクについて
2.環境に配慮した庁舎建設について	(1)庁舎緑化とビオトープについて (2)空調負荷の軽減について
3.景観行政団体の取り組みについて	(1)今後の取り組みについて (2)シーニックバイウェイについて
4.有害鳥獣対策について	(1)イノシシ、猿対策について

1.政府のパブリックコメントについて

防衛省意見の募集に対して「御意見はございませんでした。」とあった。国民の貴重な意見を出す大切なパブリックコメントの制度へのリンクや活用、啓発をすすめるべきと思うが市の対応は？

答弁 早速リンクなど対応する

2.庁舎建設について

環境に配慮した計画の庁舎建設。庁舎緑化として緑のカーテンを考えたことや屋上ビオトープ、空調負荷の軽減は？

答弁 緑化は屋上部分を中心に。ビオトープは市民意見もあったが難しい。緑のカーテンは予定しない。中ぬけになっている庁舎中央部分の自然換気は可能で、外側二重窓（ダブルスキン）も熱効率が良いものになっている。

3.景観行政団体の取り組みについて

景観法は日本で初めて出来た景観に関する法律、基本理念として国民・事業者・行政の責任を明確化している。良好な景観を、県民共有のかけがえのない財産として、まもりそだてるためにも今後の取り組みは？

答弁 地域の景観を維持・保全、新たに創出していくための基本的な方針（ビジョン）や施策展開の方向性を示す「（仮）岩国市景観ビジョン」を策定し、内容を踏まえ、市として良好な景観を形成にむけ「（仮）岩国市景観条例」の制定を目指す。

4.有害鳥獣対策について

問題対策と捕獲数は？

答弁 平成17年度のイノシシ捕獲頭数587頭、平成18年度イノシシ373頭、サル捕獲頭数46頭。被害の苦情件数も多く、増加傾向なので関係各者と協力して対応していく。

私が求める議長・委員長

昨年10月の選挙から一年が経ちました。

間もなく新しい議長や委員長などが選出されます。これらの役職を希望される方も多いのですが、これまでも問題や困った場面も色々ありました。議会の代表として、私自身の願っていることは…

議事を公平中立に進める。

岩国のこれからをよく考え、自分の意見を最優先にしたり感情的にならずにまとめる。

議決に至る過程を大切にし、大きな声だけに対応するのではなく、小さな声にも耳を傾けて平等に対処する。

議会事務局職員を秘書代わりにしない。
(事なかれにせず、公平に対応する。)

委員会で可否同数の対応の場合、関わる会派などの意向に配慮するのではなく、現状維持の原則なども考慮して判断する。

市民のみなさまにも納得して頂ける議会、代表であって欲しいと願っています。

12月定例会は、
12月3日から開催予定です。

ぜひ傍聴に、お越し下さい
ご自分の投票された議員の様子を
四年に一回は見にお越しください。



姫野敦子の主な行動メモ

2007年8月～10月 (抄)

- 8月 2～3日 議員研修会 (京田辺市)
- 4～5日 北京JACの全国シンポジウム (福岡)
- 6日 住民懇談会 美川町
- 7日 中学校防犯当番
- 9日 選挙応援 (大竹市)
- 13～15日 盆踊り
- 18日 北京JAC山口10周年記念講演
- 19日 親子奉仕作業
- 21～26日 ユネスコパネル展
- 22日 訪問研修会
- 24日 地区懇談会 錦町
- 25日 『いってみんな』光葉苑納涼会
- 28日 議員研修会 (長門市)
- 9月 1日 ユネスコ全国大会
- 2日 自治会対抗ソフトバレーボール大会
- 3日 9月定例議会スタート
- 8日 高水高校運動会
- 9日 岩国中学体育祭
- 10日 歌声サークル施設訪問活動
- 14日 一般質問
- 17日 シンフォニアフェスタ ボランティア
- 25日 愛宕山地域開発事業調査特別委員会 観月会
- 26日 議会最終日
- 29日 いってみんな 南幼稚園40周年
- 30日 岩国小学校・柱野小学校運動会
- 10月 1日 段ボール生ゴミ処理箱作り
- 3日 議会ホームページアップ
- 4日 映画『ひめゆり』視聴
- 5日 岩国市婦人会ハイキング(重源の郷)
- 6日 市民シンポジウム
- 7日 草刈り 川西保育園運動会 身障者スポーツ大会
- 8日 健康スポーツフェスタ2007
- 9日 近郊ふれあいゲートボール大会
- 13日 合歓の家五周年記念
- 14日 JASスピーチコンテスト ボランティア
- 16日 県道清掃ボランティア
- 17日 男女共同参画ジョイントシンポジウム (東京)
- 18日 野党党首へ協力要請 (東京)
- 20日 看護学校同窓会60周年 岩日夜間歩行炊出し
- 21日 岩国祭りしゃぎり
- 22日 椎尾神社大祭
- 24日 愛宕山開発中止説明会
- 25日 文化祭ケーキ焼き他
- 26日 臨時議会予算説明
- 27日 中学校文化祭 高水同窓会総会・懇親会
- 28～29日 都市政治研究所勉強会 緊急集会参加
- 31日 臨時議会



いってみんな会

第60回

のご案内

(行ってみて、言ってみませんか?)

議会報告・意見交換の会を開催します。

毎月月末の土曜日、午後3時から

自宅事務所にて行います。

～お茶でも飲みながら
一緒にお気軽に～
ご近所・お友達と・・・



また、ご希望の場所での開催にも
努力しますので、お声をかけて下さい

11月24日(土)3時から

次の61回は、12月22日の予定です。

情報コーナー

ガン患者の会

11月28日(水)18時30分から20時
岩国市中央公民館3階 視聴覚室にて
「ガン患者の会を作ろう!」の会があります
ご参加下さい
連絡先 上釜さん携帯 080-6330-6453

北京JAC山口講演会創立10周年記念行事 ～生き方再考してみませんか～

講師 参議院議員 円よりこ氏
山口県男女共同参画推進活動支援事業
日時 平成19年11月25日(日)
13時30分～15時30分頃
場所 岩国市福祉会館 二階 小ホール
連絡先 姫野まで 参加費無料 資料代500円



< 編集後記 >

日々岩国をめぐる問題が取りざたされる中、毎月でも情報紙を出したい気持ちになります。一方では、本音を書くと批判も大きく、書いては消し書いては消しの繰り返しになります。

本音の部分は、情報交換会『いってみんな会』などで、ぜひお話ししたいと思います。

この冬は、石油の高騰もあり着ぶくれてもウォームビズしたり適度な運動で対応したり自己防衛策も重要です。インフルエンザの大流行などにも、どうぞご注意下さい。

姫野敦子と

こころネットワーク事務所

〒741-0082 山口県岩国市川西3-3-54

Tel&Fax 0827-41-1320

Eメール himeno@sky.icn-tv.ne.jp

Web http://www.sky.icn-tv.ne.jp/himeno/

発行：こころネットワーク

(6) この情報紙は、再生紙を使用しています。